

のぼりべつ 社協だよい



↑新生きらきらサロン『麻雀クラブ』 ホッカイドウ競馬場外「AIBA 登別室蘭」空きスペースにてほぼ毎日実施。

介護予防も兼ねて麻雀で皆さん生き生き活動しています。初心者も女性も一緒に楽しめるサロンです。

もくじ

- 特集 ふれあい・いきいきサロン P 2-3
- 東日本大震災義援金報告 P 4-5
- 歳末たすけあい運動募金が始まります P 6
- ふれあい会食会
ふれあいフェスティバル2011のぼりべつを開催しました／社協寄付金...P 7
- 登別市社会福祉大会 P 8



2011

11.01

No. 108

[発行] 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

[事務局] ☎059-0016

登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センター1F 21内

[TEL] 0143-88-0860 [FAX] 0143-88-4546

[mail] info@kizuna-shakyo.main.jp

[HP] <http://kizuna-shakyo.main.jp/>



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

地域の誰もが集える居場所

ふれあい・いきいきサロン

特集



登別市社協では、登別市地域福祉実践計画「きずな」に基づき、高齢者を中心とした地域の居場所づくりを行う「ふれあい・いきいきサロン」を推進しています。

今回は鶴別地区で活動している「ふれあい健康サロン」（代表：福岡新太郎さん）にお話を伺いました。

●ふれあいいきいきサロンってなあに？

ふれあい・いきいきサロンは、地域で生活している高齢者を中心に地域住民が気軽に集まり、ふれあいを通して生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げていく活動です。

市内では、町内会、民生委員・個人等様々の方が運営主体となり、年間約1,500回開催、延べ約20,000人が参加しています。

おしゃべり・お茶飲みの気軽なものから、歌や運動等の趣味を活かした活動まで、各サロンバラエティに富んだ内容で、お互い見守り合い支え合う取り組みが広がっています。

登別市社協ではこのような活動を推進するため、各サロンへの訪問・相談活動や各種研修会の実施、運営費の助成等、気軽に地域の居場所づくりが進められるよう支援しています。

●サロンサポーターとは？

サロンサポーターとは、ふれあい・いきいきサロンの運営を通して、高齢者との緩やかな関係のもと、『お互いに支え合う』視点を持つ、高齢者をさりげなく支える方の事を言います。

登別市社協ではサロンサポーターに関わる各種研修会を下記の通り実施しています。皆さんの参加をお待ちしています。

お知らせ

社協では、より多くの皆さんに介護予防や仲間づくりの視点とスキルを持ってサロンに携わっていただけるようサロンサポーター養成研修会や連絡会を開催しています。「仲間と一緒にこれからサロンを立ち上げたい！」「自分自身のスキルアップをしたい！」とお考えの方、どなたでもご参加いただける内容なので、是非お気軽にご参加ください。

第3回サロンサポーター連絡会

[日時] 平成24年2月21日(火)

[第1部] 9:00~12:00

[第2部] 13:00~16:00

※1部2部同様の内容なので、どちらかご参加下さい。

[場所] 登別市総合福祉センターしんた21

[講師] NPO法人FacilitatorFellows 江上 厚 氏

[内容] 市内各サロンやサロンサポーターの交流を図りながら、コミュニケーションスキルを身につける体験学習を行います。

サロンサポーター養成研修会

[日時] 平成24年3月2日(金) 10:00~16:00

[場所] 登別市総合福祉センターしんた21

[講師] 北海道総合福祉研究センター 五十嵐 教行 氏

[内容] サロンの基本や高齢者との関わりの視点や工夫を学びます。

※本研修を受講すると、サロンサポーター登録ができます。



お問合せ先 / 登別市社会福祉協議会 88-0860

Q. サロン立ち上げのきっかけは?

福岡さん 30年以上前からやっていた、町内会の卓球が前身。社協のサロン事業の開始を機に、約3年前にいきいきサロンとしての登録を行いました。メンバーは現在約20名で、ほとんどの方が70歳以上。はまなす町内会の方を中心に他の町内会から参加する方も歓迎しています。

Q. サロンの中で大切にしていることは?

福岡さん サロンは、**地域の情報交換の大切な場**にもなっています。ご近所の気になる情報が出た際には、必ず**町内会や民生委員**に繋いでいます。また、定期的にサロンで顔を合わせることで、お互いに見守り合うことができます。何よりこうして週に3回出かける場所があることがそれぞれの生きがい・健康づくりに繋がる大切なことだと思いません。

Q. 今後の展望を教えてください。

福岡さん サロンのモットーは「楽しく・仲良く・100歳まで続けよう」。卓球の技術向上が目的なのではなく、仲間づくりや健康維持が目的。打ち方などにはこだわらず、一人ひとりの体力に合わせて、とにかく玉を打ち返して楽しめればOK。持病や障がいがある方も誰でもできるので、サロンを楽しみながら健康づくりをしてほしいと思っています。

モットーは、楽しく。仲良く。100歳まで続けよう!!



« 参加者の声 »

- ・サロンに来ると笑いが絶えません。卓球をして笑って、おしゃべりをして笑って、とにかく楽しんでいます。
- ・卓球の上手い下手に関係なく楽しく参加することができます。
- ・卓球も楽しいが、おしゃべりが1番。
これが若々しくいられる秘訣です！
- ・こうしてみんなで集まって、いつまでも元気でいたいです。
100歳まで来たい！！
- ・パーキンソンの症状等で外出が辛いため、何か外へ出る用事があるときは朝から緊張しますが、サロンへはみんなに会いたい気持ちが強く、休まず参加しています。こんな場を与えてもらっていることがとても有り難いです。



今年の3月から町内会役員や民生委員を中心にサロンの立ち上げを計画していました。鷺別町4丁目においても高齢化が進み、現在では約3分の1が高齢者世帯となっています。また、サロン活動が盛んな鷺別地区の他サロンのアドバイスを受け、私たちの町内会でも地域のふれあいの場を作っていくという動きになりました。

初めての試みなのでわからないことが多いですが、地域の協力者を増やしながら、プラッと来てプラッと帰れる気軽なサロンを作りたいと思っています。まずはお茶飲みから始めて、参加者の皆さんと一緒に4丁目らしいサロンを作りたいと思います。まずは第1回を12月に開催しますので、是非多くの皆様にご参加頂ければと思います！！

12月から新しくサロンを立ち上げる鷺別町4丁目町内会、荒木政博さん（町内会長）と加藤征一さん（サロンサポートー）にお話を伺いました。



私たちが
お待ちして
います！！

第1回 「4丁目サロン」

[日時] 平成23年12月17日 (土)

10:00~12:00

[場所] 恵和園（登別市鷺別町4丁目36-37）

[対象] 鷺別町4丁目町内会の方

[問合せ先] 86-4190 (荒木)

この度の東日本大震災の発生に伴い、登別市共同募金委員会では義援金の受付をおこないました。登別市内の方々を中心に、多くの方から寄せられた義援金は中央共同募金会を通じて、隨時全額被災地へと届けられています。これまでに寄せられた義援金の募集状況及び取り組みの様子をご報告します。



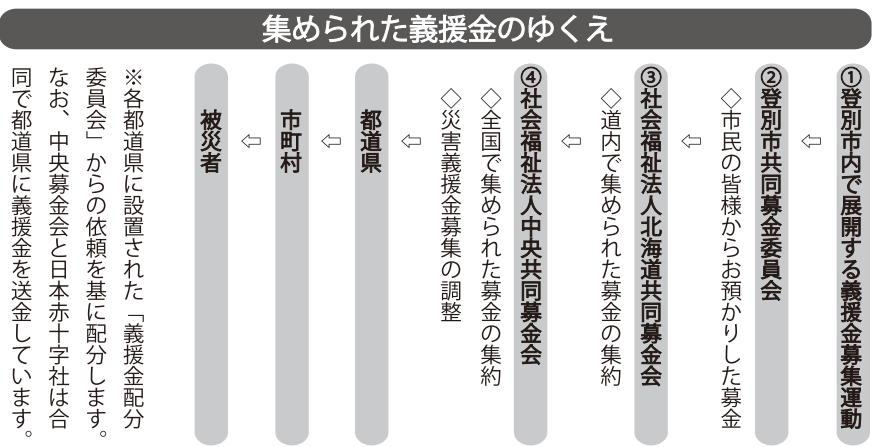
▲岩手県宮古市田老地区の様子（H23.9月末撮影）

登別市共同募金委員会に寄せられた募金額 総額 29,776,041 円

《平成23年10月14日現在》

すずかけコーラス一同、登別更生保護女
樋田英明、仲良しひ、田中時計店 日
刈田神社例大祭女御輿一同、匿名7件

中央共同募金会をはじめ日本赤十字社等各種団体を通して、全国各地の皆様から集められた東日本大震災の義援金は、9月30日現在で3,269億円です。



「集められた義援金が被災地へどのように届けられているのか分からぬ」という声もよく聞かれますが、公平・迅速に配分するべく各都道県に設置された義援金配分委員会からの依頼により、適正な手続きが進められ、現在までに募金総額の約9割が都道県に送金されています。

義援金配付狀況

募金総額(A)	配分			
	都道県への送金額(B)	市町村への送金額(C)	被災者への配付額(D)	配付件数
	対・募金総額 B/A	対・都道県送金 C/B	対・市町村送金 D/C	
3269 億円	2901 億円	2529 億円	2273 億円	815,784 件
	88.7%	87.2%	89.9%	

※厚生労働省 HP 東日本大震災関連情報より (H23.9.30 現在)



災害ボランティア・NPO活動サポート募金

[期 間] 平成23年3月15日～平成25年3月31日まで

[内 容] 被災地で活動するボランティア・NPO 団体等への支援金を募集しています。今回の震災ではかつてない長い支援活動が必要となり、被災地での救援活動・復興支援活動を続けるボランティア・NPO の息の長い継続的な活動を支えるための「助ける人を助ける」募金が生まれました。集められた支援金は、各ボランティア団体・NPO 等の申請に基づき、順次助成されています。登別市共同募金委員会においても窓口受付を行っておりますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

お問合せ先

登別市共同募金委員会（登別市社協内）

電話：88-0860

ついてはお問合せ下さい

※各種募金方法による受付を行っておりますので詳細に



東日本大震災義援金募集期間延長!! 平成24年3月31日まで



あなたの募金がこのまちの福祉を支えています。
皆様のご協力をお願いします。

期 間 12月1日～12月31日まで

※事務手続きの関係上、納入期限を12月26日までとさせていただきます。

H23年度目標額 5,500,000円

H22年度実績額 5,368,153円

歳末たすけあい運動募金が始まります

毎年12月に実施している「歳末たすけあい運動」とは、「赤い羽根共同募金運動」とともに、「共同募金」の一環として行われます。

互いに支え合ったすけあいの心を育みながら、多くの方々の協力で世代と地域の交流が生まれ、誰もが思いやりの心を感じる地域づくりを目指して展開しています。

●募金の使い道

集められた募金はすべて登別の福祉事業に活用されています

- 歳末見舞金支給事業
- ふれあいきいきサロン事業
- ふれあい会食会
- ふれあい子育てサロン事業
- 小地域ネットワーク推進事業
- きずな推進事業
- 在宅介護支援事業

●募金方法

各町内会協力のもと、登別市共同募金委員会で推進しています封筒募金（戸別募金）を実施しています。今年度も11月中旬以降にご案内いたしますので、みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（その他イベント募金等も随時実施しています。）

歳末見舞金支給事業

地域で暮らす誰もが、安心して年末年始も温かく心地よく迎えられるようにという想いから誕生したこの事業。地域で生活されている低所得者世帯や、高齢者・障がいの方々等を対象に支給されます。

それぞれの地域で活動している民生委員さんが申請手続きをお手伝いしてくれています。

お問合せ先 登別市共同募金委員会（登別市社協内）

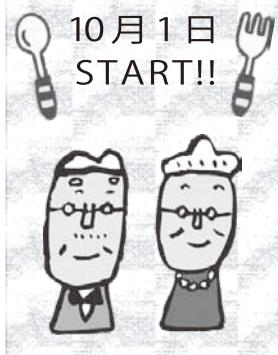
電話：88-0860 FAX：88-4546

●その他義援金等の受付について

登別市共同募金委員会では、この度の東日本大震災をはじめ、全国各地で発生する災害等に対して募集期間を定めた義援金受付を随時行っています。このまちの地域福祉活動を支える共同募金運動の他にも、度重なる寄付や募金の呼びかけをさせていただいているが、それぞれ目的に応じた使いますが、それぞれ目的に応じた使い方をお願いいたします。



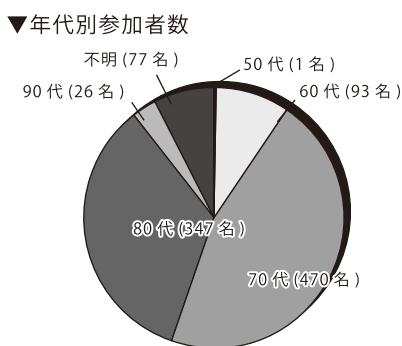
ふれあい会食会



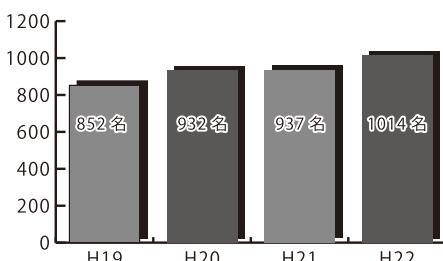
地域住民同士が日頃からの近隣での支え合い活動を促進し、地域で見守りが必要な高齢者の方等を孤立させることなく、地域住民とふれあい、交流する機会を設けることを目的に毎年開催しているふれあい会食会。（P.6 写真参照）

毎年「歳末たすけあい運動募金」を財源に、市内各町内会で実施しています。

昨年度も61の町内会で実施し、1,014名（男性199名・女性815名）の皆さんにご参加頂きました。毎年役員の皆さんとのアイディアにより、バラエティーに富んだメニューで参加者の方に楽しんでいただいている。今年もたくさんの皆様のご参加をお待ちしています。



▼参加者数の推移



ふれあいフェスティバル2011のぼりべつを開催しました



9月11日、障がいのある人もない人も共に楽しみ・笑い・語り合いきずなの輪を広げ福祉されたかなまちづくりを願い、総合福祉センターしんた21にて本事業を開催しました。メインステージでは、湯乃華太鼓による和太鼓演奏や、豪華景品のある抽選会、また、85歳以上の地域活動の貢献者へ贈られる高齢者いきいきライフ表彰では、15名の方々が受賞されました。

その他、館内では体験の広場や授産製品販売、また屋外には屋台が並び、大勢の来場者でにぎわいました。ご参加・ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

皆様の心のこもったあたたかい善意 誠にありがとうございます

社協寄付金（平成23年8月1日～9月30日まで）

月 日	寄 付 者	金 額	摘要
8月 1日	匿名	10,000	テント借用のお礼として
8月 17日	SPAR 幌別店 岸本	2,689	愛の小箱
9月 2日	(有)南ヤ	12,900	ゴルフコンペにおいて寄付を募った
9月 11日	鶴別エリア歌謡交流会実行委員会	20,000	第9回樺岳夫杯 ABCランク別チャレンジ歌謡選手権大会の益金の一部を
9月 22日	大澤 隆子	10,000	社会福祉事業の為に
9月 29日	日本工学院北海道専門学校しん灸科	33,051	昨年の学校祭でしん灸科でデモンストレーションを行い寄付を募った

（敬称略／単位：円）

平成23年度 登別市社会福祉大会



地域社会における人たちの「きずな」の推進を通して、社会福祉関係者をはじめ、市民参加による福祉のまちづくりの実現をめざし、これまで多年にわたり本市社会福祉の発展に功労のあった団体又は個人を表彰するとともに、これから社会福祉のあり方を考えることを目的に本大会を開催します。

主 催 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会 共 催 登別市共同募金委員会

後 援 (予定) 登別市、登別市連合町内会、登別市民生委員児童委員協議会

日 時 平成23年11月26日(土) 13:00~15:30(受付 12:30~)

会 場 登別市総合福祉センター しんた21 2階多目的ホール

日 程

【式典次第】(13:00~)

①開 会

②市民憲章唱和

③式 辞 社会福祉法人登別市社会福祉協議会 会長 佐藤 逸夫

④来賓祝辞 (予定) 登別市長 小笠原 春一 様、登別市議会議長 高橋 正美 様

⑤表 彰 1) 登別市社会福祉協議会会长表彰

1. 自立更生者 2. 社会福祉事業功労者 3. 社会福祉事業援助功労者・団体

2) 登別市共同募金委員会会长表彰

1. 永年奉仕者・団体 2. 永年寄付者

3) 北海道社会福祉大会表彰伝達式

⑥受賞者代表謝辞

⑦閉 会

【基調講演】(14:10~) ※参加無料

演題／「無縁社会」から「きずな社会」へ ~豊かな人生を送るための人と人とのつながり~

講師／健康生きがいづくりアドバイザー 上野 正志 氏(相田みつを北海道友の会代表)

参加対象

①社会福祉協議会、共同募金会関係者

②町内会、自治会などの住民組織関係者

③社会福祉事業実施関係団体

④民生委員児童委員

⑤社会福祉施設関係者

⑥社会福祉、保健衛生、教育などの行政機関の職員

⑦ボランティア、N P O関係者

⑧その他、本大会の趣旨に賛同する者

参加申込 下記事務局へ電話またはFAX等でお申し込みください。

大会事務局 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

〒059-0016 登別市片倉町6丁目9-1 登別市総合福祉センター内

T E L: 0143-88-0860 F A X: 0143-88-4546 e-mail : info@kizuna-shakyo.main.jp